

ハンドボール

NO 2

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	⑫
----------	---

年月日	2022 年 10 月 8 日 (土)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A						大阪府						熊本県						B	
栃木県			栃木市			会場 マルワ・アリーナとちぎ						団体			準々決勝				
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m射 外	A	B					
7m得点/総数		A 0/0		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 0/1		7m得点/総数							
		1 1655		2 後3 2116					1 0930		2 後3 1639 2533								

No.	大阪府	G	W	2'	2'	D	DR	No.	熊本県	G	W	2'	2'	D	DR
1	大砂 佑 真							1	池 田 雄 紀						
2	市 原 駿 太	1						2	林 田 凌 和	2					
3	尾 上 悠 利	3		1				3	鎌 田 大 聖	3					
4	勝 村 海 生							4	岩 崎 優 真	3					
5	小 門 聖 昌	2						5	島 崎 鯨 雅	2					
6	門 田 晃 季	1						6	稻 葉 文 哉	5					
7	西 村 直 将	1						7	渡 邊 海 崇						
8	和 田 拓 馬	3						8	橋 本 拓 斗	3					
9	竹 下 颯 斗	8						9	福 岡 秀 太						
10	橋 光 太 郎	7	1					10	高 木 皓 大						
11	井 上 凜 太 朗	2		1				11	柳 陽 翔	4					
12	田 代 稔							12	山 田 詢						
監督A	徳 永 昌 亮							監督A	中 山 裕 介						
役員B	山 本 智 章							役員B	森 田 勇						
役員C	西 山 尚 良							役員C	嘉 古 田 奨 吾						
役員D	井 手 琴 音							役員D							

A	徳永昌亮	チーム役員A署名	中山裕介	B
---	------	----------	------	---

特記事項

レフェリー	池淵 智一	檜崎 潔	池淵智一	檜崎潔
TD	牧田 実	宮内 勇作	牧田実	宮内勇作
MO	菊田 政行		菊田政行	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO1

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日 (土)	試合番号	⑫	回戦	準々決勝
種別	少年男子	会場	マルワアリーナ		
Aチーム名			Bチーム名		
大阪			熊本		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	13	前半	10	22	
	15	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大会3日目となる男子準々決勝1試合目は、大阪◎竹下の得点で幕を開けた。序盤、開始早々⑩井上が退場するも大阪の勢いは止まらず、熊本はタイムアウトで流れを変えようと試みる。その直後熊本②林田の力強いディスタンスシュートが決まるが、大阪の堅い守りになかなか点差の詰まらない展開が続く。しかし熊本①池田のナイスセーブが流れを引き寄せ、④岩崎の豪快なディスタンスシュートを含む連続得点で3点差まで追いつけたところで前半を終えた。

後半は開始早々互いに点を取り合う展開となる。15分を経過してもなお、両チームGK熊本①池田と大阪①大砂がサイドシュートやノーマークのシュートも防ぐ活躍を見せ、一進一退の攻防が続く。試合が動いたのは20分を経過した頃であった。⑩橋のサイドシュートや◎竹下の速攻で暫実に得点を重ね、終盤になり大阪がリードを6点に広げる。その後は大阪が流れを熊本に渡すことなく、28対22でベスト4進出を決めた。

記載者氏名

飯塚 由鳥

送信日時

10月 8日 (土) 11:25